



Spring
Racing
Carnival

メルボルン
スプリング・レーシング・カーニバル



豪州・メルボルン
2019年8月31日～11月23日



Spring
Racing
Carnival

イントロダクション

2018年のスプリング・レーシング・カーニバルは、このイベントが国際化をしてから25年めという節目の開催でした。

そして、3つのメジャーな競走のうち2つを海外からの遠征馬が優勝。

総賞金730万豪ドルのレクサス・メルボルンC (3200m) は、英国調教馬による初優勝が実現しただけでなく、上位3頭を英国調教馬が占めるという、歴史的結果となりました。

ウィンテージクロープが「国の動きを止めるレース」を海外からの遠征馬として初めて制してから25年が経過した昨年、スプリング・レーシング・カーニバルには総数で31頭もの国外調教馬が参戦し、数々の勝利を手にして帰国の途につきました。

ゴドルフィンの所有馬3頭が、9月初旬には早くもメルボルンにおけるキャンペーンを開始し、スプリング・レーシング・カーニバル前半のカードに参戦したのです。そして、ジャングルキャットが豪州初戦となった総賞金50万豪ドルのラドブロックス・サルバートクラークS (コーフィールド、1400m) を快勝。遠征勢に、おおいに弾みをつけることになりました。最終的に海外からの遠征馬は、4つのG1を含めて6つもの重賞競走を制したのです。

2018年レクサス・メルボルンC優勝
チャーリー・アッパルビー厩舎、
ケリン・マキヴォイ騎乗のクロスカウンター

コーフィールドギネーズ当日、サイド・ビン・スルールが管理するペンバトルが総賞金100万豪ドルのG1ラドブロークスS (2000m) を、エイダン・オブライエンが管理するユカタンが総賞金40万豪ドルのG2ラドブロークス・ハーバートパワーS (2400m) を制覇。そしてその翌週、総賞金500万豪ドルのG1コーフィールドC (2400m) を制したのは、またしても、ゴドルフィンのブルーの勝負服を背負ったベストソリューションでした。

しかし、遠征勢にとってのハイライトは、その後に待ち受けていました。チャーリー・アップルビーが管理するクロスカウンター、ヒューイー・モリソンが管理するマーメロ、そして、G3レクサスSを勝っての参戦だったチャーリー・フェロウズ厩舎のプリンスオヴアランが、南半球におけるもっとも名高い競走であるレクサス・メルボルンCで、1着から3着まで独占したのです。

スプリング・レーシング・カーニバルの総賞金は7500万豪ドルほどになりますが、2018年は、この3頭を含めて、ウェリビー競馬場を拠点とした海外からの遠征馬たちは、トータルで1300万豪ドルをこえる賞金を獲得して、帰国の途に就いたのです。

スプリング・レーシング・カーニバルの主要3競走を、海外からの遠征馬がスイープしたことは、過去に一度だけありましたが、豪州の名牝ウィングスが現役を退いた今、遠征馬たちが、再びその偉業を達成するおおきなチャンスを迎えていると言えます。

オーストラリアで最も権威があり、最も賞金の充実したスプリング・レーシング・カーニバルは、8月31日(土曜日)から、11月23日(土曜日)まで開催されます。この期間、メルボルンでは数々の重賞競走や準重賞競走が施行され、その総賞金は8000万豪ドルにのびります。



2018年コーフィールドC優勝後に
パドックでベストソリューションを曳いて歩く
サイド・ビン・スルール調教師

ステイヤーたちのG1競走

G1ステラアトイス・コーフィールドC

開催日：2019年10月19日・土曜日
総賞金：5,150,000豪ドル
距離：2,400m
競馬場：コーフィールド
条件：ハンディキャップ
フルゲート：18頭

G1レクサス・メルボルンC

開催日：2019年11月5日・火曜日
総賞金：7,300,000豪ドル
距離：3,200m
競馬場：プレミントン
条件：ハンディキャップ
フルゲート：24頭

総賞金 12,450,000豪ドル

主要競走の詳しいプログラムは、添付資料をご参照ください。





馬齢重量による中距離のG1競走

G1ラドブロックスS

開催日：2019年10月12日・土曜日
総賞金：1,000,000豪ドル
距離：2,000m
競馬場：コーフィールド
条件：馬齢重量
フルゲート：16頭

G1ラドブロックス・コックスプレート

開催日：2019年10月26日・土曜日
総賞金：5,050,000豪ドル
距離：2,040m
競馬場：ザ・ヴァレイ
条件：馬齢重量
フルゲート：14頭

G1セベルト・マッキノンS

開催日：2019年11月9日・土曜日
総賞金：2,000,000豪ドル
距離：2,000m
競馬場：プレミントン
条件：馬齢重量
フルゲート：16頭

総賞金 8,050,000豪ドル

主要競走の詳しいプログラムは、添付資料をご参照ください。

ウインクスがベンバトルを退けてコックスプレートを制し、このレース4連覇という歴史的偉業を達成しました。

スプリンターたちのG1競走

G1ラドブロックス・マニカトS

開催日：2019年10月25日・金曜日
(ナイター開催)

総賞金：1,000,000豪ドル

距離：1,200m

競馬場：ザ・ヴァレイ

条件：馬齢重量

フルゲート：14頭

G1VRCスプリントクラシック

開催日：2019年11月9日・土曜日

総賞金：1,000,000豪ドル

距離：1,200m (直線コース)

競馬場：プレミントン

条件：馬齢重量

フルゲート：20頭

総賞金 2,000,000豪ドル

主要競走の詳しいプログラムは、添付資料をご参照ください。



ブレイヴスマッシュがスピリットオヴヴァラーを僅差で退け、
2018年のマニカトSに優勝しました。



マイラーたちのG1競走

G1トゥーラックH

開催日：2019年10月12日・土曜日
総賞金：500,000豪ドル
距離：1,600m
競馬場：コーフィールド
条件：ハンディキャップ
フルゲート：16頭

G1ケネディーマイル

開催日：2019年11月2日・土曜日
総賞金：1,000,000豪ドル
距離：1,600m
競馬場：プレミントン
条件：クオリティ・ハンディキャップ
フルゲート：16頭

総賞金 1,500,000豪ドル

主要競走の詳しいプログラムは、添付資料をご参照ください。

ダミアン・レーンが騎乗するランドオヴブレンティが、
2018年のトゥーラックHに優勝しました。



2020年のお知らせ! ジ・オールスターマイル

2020年3月14日、コーフィールド

オーストラリアで唯一、出走馬が
ファン投票で選出される競走です

総賞金
5,000,000豪ドル

1600m戦としては
世界最高賞金競走です

1着賞金
2,250,000豪ドル

第二次登録料は
無料

第一次登録料
500豪ドルは

チャリティーに
廻させていただきます。

賞金分配

1着 225万ドル 4着 21万ドル

2着 72万ドル 5着 15万ドル

3着 36万ドル 6着~14着 9万ドル

115以上のレイティングを持つG1勝ち馬が
海外から参戦した場合には、
渡航費の補助が用意されています。



総賞金500万ドルをかけ、フレミントンで施行された
第一回オールスターマイルは、ミスティックジャーニーが優勝しました。

G1ステラアトイス・コーフィールドC

開催日：2019年10月19日・土曜日

総賞金：5,150,000豪ドル

距離：2,400m

競馬場：コーフィールド

条件：ハンディキャップ

フルゲート：18頭+補欠馬4頭



海外からの遠征馬への渡航費補助

2019年のステラアトイス・コーフィールドCに海外から参戦し、3着以内に入らなかった出走馬の馬主には、100,000豪ドルの遠征補助が支給されます。海外からの遠征馬は、メルボルンに到着し、ウェリビー国際厩舎で着地検疫を行い、ステラアトイス・コーフィールドCに出走した後、2019年の年末までに出国しなければならぬ規定となっています。

賞金の内訳

	豪ドル	日本円換算	ポンド換算	ユーロ換算
1着	3,000,000	234,350,591	1,662,101	1,889,428
2着	700,000	54,674,627	387,800	440,866
3着	350,000	27,543,642	193,900	220,433
4着	200,000	15,739,224	110,804	125,972
5着	150,000	11,804,418	83,103	94,479
6着~10着	120,000	9,443,595	66,481	75,583

*優勝トロフィーには150,000豪ドルの価値があります

*海外通貨への換算額は、あくまでも参考的数字であり、この金額の支給を保証するものではありません。

登録締め切り日と登録料

	締め切り日時	登録料(豪ドル)
第一次登録	8月29日・木曜日 現地時刻の正午	1,200
追加登録	9月5日・木曜日 現地時刻の正午	6,000
ハンディキャップ発表	9月10日・火曜日	
第二次登録	9月24日・火曜日 現地時刻の正午	1,800
第三次登録	10月8日・火曜日 現地時刻の正午	3,200
最終出馬登録	10月16日・水曜日 現地時刻の午後4時30分 (騎乗する騎手もこの段階で登録します)	37,500

第一次登録をEmailで行う場合は、8月28日・水曜日までに Racing Victoria まで申請をお済ませください。

優先出走権が与えられるレース

下記に示した競走の2019年の1着馬は、2019年のステラアトイス・コーフィールドCへの優先出走権が与えられます。すなわち、登録すれば出走枠に入ることが確定します。

*下記競走の1着馬が2019年のステラアトイス・コーフィールドCに出走する場合、左記にございます遠征補助費が支給されます。

国	レース	日程
日本	G2日経新春杯 (2,400m)	1月13日・日曜日
日本	G2京都記念 (2,200m)	2月10日・日曜日
UAE	G1ドバイシーマクラシック (2,410m)	3月30日・土曜日
英国	G2ジョッキークラブS (12F)	5月4日・土曜日
日本	G2目黒記念 (2,500m)	5月26日・日曜日
香港	G1チャンピオンズ&チェイターC (2,400m)	5月26日・日曜日
仏国	G2シャンティエ大賞 (2,400m)	6月2日・日曜日
英国	G2ハードウィックス (11F211y)	6月22日・土曜日
英国	G2プリンセスオヴウェールズ (12F)	7月11日・木曜日

*検疫規定や渡航証明など、詳細につきましては Racing Victoria までお尋ねください

負担重量

最低負担重量		
3歳	49.0キロ	7ストーン10ポンド
4歳上	50.0キロ	7ストーン12ポンド

基準となる負担重量

3歳牡馬・騾馬	49.5キロ	7ストーン11ポンド
3歳牝馬	48.0キロ	7ストーン8ポンド
4歳牡馬・騾馬	57.5キロ	9ストーン1ポンド
4歳牝馬	56.0キロ	8ストーン11ポンド
(北半球産の4歳馬は1キロ加算)		
5歳上 牡馬・騾馬	59.0キロ	9ストーン4ポンド
5歳上 牝馬	57.5キロ	9ストーン1ポンド

優先出走権の順位付けに関する条件の詳細は、次ページをご参照ください。
また、詳細は racingvictoria.net.au/international でもご覧いただけます。

G1ステラアトイス・コーフィールドC

優先出走権の順位付けに関する条項

詳細はウェブサイトでご確認ください

2019年のガイドライン

下記競走で1着になれなかった馬が、2019年ステラアトイス・コーフィールドCに登録できないわけではなく、また、必ず除外されるわけでもありません。

平地の距離1600m以上の競走における成績とレース内容が吟味された上で、出走するにふさわしいと判断された馬が、出走枠に入るシステムになっています。

2019年、下記競走の1着馬に優先出走権が与えられます

- ・マカイビーディヴァ (クレイグリー) S
- ・ダトタンチンナム (フィーハン) S
- ・アンダーウッドS
- ・ナチュラリズムS
- ・タンブルS
- ・ハーバートパワーS
- ・コーフィールドS
- ・モーニングトンC
- ・クーンジーH
- ・日経新春杯 (日本)
- ・京都記念 (日本)
- ・シーマクラシック (UAE)
- ・ジョッキークラブS (英国)
- ・チャンピオンズ&チェイターC (香港)
- ・目黒記念 (日本)
- ・シャンティ大賞 (仏国)
- ・ハードウィックS (英国)
- ・プリンセスオヴウェールズS (英国)

上記競走の勝ち馬は、2019ステラアトイス・コーフィールドCの除外

の対象から外されます。ただし、1着が同着だった場合は、主催者の委員会が競走内容を吟味し、どちらか1頭に優先出走権を与えるか、2頭ともに優先出走権を与えるかの判断を行います。

ペナルティー

負担重量が発表になって以降、距離1600m以上の競走で、国際基準による重賞および準重賞の格付けを得ているハンディキャップ戦で優勝した馬は(2019年のハーバートパワーSとクーンジーSは除く)、ハンディキャッパーの裁定により、当初発表のハンディキャップが上乗せされる可能性があります。

実際のハンディキャップが、当競走に設定された最低負担重量に満たない馬が上記競走に勝利した場合は、これを鑑みたハンデが設定されます。最低負担重量と同等か、それ以上のハンディキャップを背負うことが発表されている馬が上記競走に勝利した場合は、ハンディキャッパーの裁量で負担重量の見直しが行われる場合がございます。ハンディキャップの見直しが行われ、変更がある場合は、当該競走の施行から5日以内(休日を除く)に、ハンディキャッパーからその旨の発表があります。

条項1

2018年8月1日以降、出馬登録までの期間に、

- a) 距離1600m以上の国際G1、G2、G3で上位3着までに入った馬
- b) 距離1600m以上の国際LGで1着となった馬
- c) イボアH (英国) の1着馬

上記の対象馬が、最低負担重量に到達しているか、基準となる負担重量に相応しい馬どうかを査定される対象となります。上記のa) に関しては、総賞金が6万ドルの競走であることが条件となります。

また、状況に応じて、4着馬、5着馬も評価の対象となる場合もございます。ただし、上記賞金条件を満たす競走であっても、下記の場合は評価の対象とならない場合もございます。

- d) その競走が、特定のせり市場で購買された馬のみを対象としていたり、特定の地域で生産され調教され、購買された馬のみを対象としている場合。
- e) ボーナズや出走補助金を加算して上記賞金条件を満たす場合

また、コーフィールドC、コックスブレート、メルボルンCの過去の勝ち馬は、この条項における条件での除外の対象からは外れます。

条項2

最終的に出馬登録を行い、なおかつ、基準となる負担重量を上回る馬の数がフルゲートを越えた場合、査定された負担重量にとって優先して出走できる馬の順位付けが行われます。

査定された負担重量が同等の馬が複数いる場合は、遡ること12か月以内に獲得した国際レーティングの高い馬が優先順位で上位となります。遡ること12か月以内に獲得した国際レーティングが同等の馬が複数いる場合、該当する競走で獲得した通算賞金の多寡が、順位付けの根拠となります。

該当する競走で獲得した通算賞金が同等の馬が複数いる場合、主催者の委員会による裁定によって順位付けがなされます。

当該競走は、レーシングヴィクトリアの競走施行規定にのっとって施行されます。

G1ラドブロックス・コックスプレート

開催日：2019年10月26日・土曜日

総賞金：5,050,000豪ドル

距離：2,040m

競馬場：ザ・ヴァレイ

条件：馬齢重量

フルゲート：14頭+補欠馬4頭

Ladbrokes

COX PLATE



コックスプレートは国際招待競走です

ムーニーヴァレイレーシングクラブがこの競走の有資格馬と認めた馬は、2019年ラドブロックス・コックスプレートの招待馬となり、メルボルンへの遠征にかかる費用は主催者の負担となります。

また、招待馬関係者のメルボルンへの渡航やメルボルンにおける滞在も、主催者による手配となり、費用も主催者が負担いたします。招待馬の選定は、ムーニーヴァレイレーシングクラブが専有する決定事項です。

賞金の内訳

	豪ドル	日本円換算	ポンド換算	ユーロ換算
1着	3,000,000	236,035,911	1,668,683	1,890,375
2着	750,000	59,014,105	417,946	472,593
3着	375,000	29,507,052	208,973	236,114
4着	250,000	19,671,368	139,315	157,409
5着	200,000	15,735,631	111,452	125,927
6着	100,000	7,867,911	55,713	62,963
7着	100,000	7,867,911	55,713	62,963
8着	75,000	5,900,933	41,785	47,217
9着	75,000	5,900,933	41,785	47,217
10着	75,000	5,900,933	41,785	47,217

*優勝トロフィーには50,000豪ドルの価値があります

*海外通貨への換算額は、あくまでも参考的数字であり、この金額の支給を保証するものではありません。

登録締め切り日と登録料

	締め切り日時	登録料(豪ドル)
第一次登録	8月6日・火曜日 現地時刻の正午	1,100
追加登録	8月13日・火曜日 現地時刻の正午	5,500
第二次登録	9月10日・火曜日 現地時刻の正午	2,200
第三次登録	9月24日・火曜日 現地時刻の正午	4,400
第四次登録	10月8日・火曜日 現地時刻の正午	6,600
追加登録	10月21日・火曜日 現地時刻の正午	200,000
最終出馬登録	10月22日・火曜日 現地時刻の午前8時30分 (騎乗する騎手もこの段階で登録します)	54,450

第一次登録をEmailで行う場合は、8月28日・水曜日までに Racing Victoria まで申請をお済ませください。



ウインクスがベンバトルを退けてコックスプレートを制し、このレース4連覇という歴史的偉業を達成しました

G1レクサス・メルボルンC

開催日：2019年11月5日・火曜日

総賞金：7,300,000豪ドル

距離：3,200m

競馬場：フレミングトン

条件：ハンディキャップ

フルゲート：24頭



MELBOURNE CUP
CARNIVAL 2019

賞金の内訳

	豪ドル	日本円換算	ポンド換算	ユーロ換算
1着	4,000,000	314,751,948	2,226,249	2,520,579
2着	1,000,000	78,687,987	556,411	630,070
3着	500,000	39,343,318	278,205	315,035
4着	300,000	23,605,990	166,923	189,021
5着	200,000	15,737,327	111,245	126,025
6着~12着	150,000	11,801,795	83,434	94,518

*優勝トロフィーには250,000豪ドルの価値があります

*海外通員への換算額は、あくまでも参考的数字であり、この金額の支給を保障するものではありません。

登録締め切り日と登録料

	締め切り日時	登録料(豪ドル)
第一次登録	8月29日・木曜日 現地時刻の正午	1,800
追加登録	9月5日・木曜日 現地時刻の正午	5,500
ハンディキャップ発表	9月10日・火曜日	
第二次登録	10月1日・火曜日 現地時刻の正午	2,000
第三次登録	10月15日・火曜日 現地時刻の正午	3,000
第四次登録	10月28日・月曜日 現地時刻の午前10時	4,000
最終出馬登録	11月2日・土曜日 現地時刻の午後4時30分 (騎乗する騎手もこの段階で登録します)	49,500

第一次登録をEmailで行う場合は、8月28日・水曜日までに Racing Victoria まで申請をお済ませください。

負担重量

最低負担重量		
3歳	49.0キロ	7ストーン10ポンド
4歳上	50.0キロ	7ストーン12ポンド

基準となる負担重量

3歳牡馬・騾馬	50.0キロ	7ストーン12ポンド
3歳牝馬	48.5キロ	7ストーン9ポンド
北半球産3歳牡馬・騾馬	56.5キロ	8ストーン13ポンド
北半球産3歳牝馬	55.0キロ	8ストーン9ポンド
4歳牡馬・騾馬	58.0キロ	9ストーン2ポンド
4歳牝馬	56.5キロ	8ストーン13ポンド
5歳上 牡馬・騾馬	59.5キロ	9ストーン5ポンド
5歳上 牝馬	58.0キロ	9ストーン2ポンド

優先出走権の順位付けに関する条件の詳細は、次ページをご参照ください。
また、詳細は racingvictoria.net.au/international でもご覧いただけます。



ケリン・マキウェイ騎乗のクロスカウンターが
2018年メルボルンCを制しました。

2019レクサス・メルボルンC

優先出走権の順位付けに関する条項

詳細はウェブサイトでご確認ください

(1) 主催者の役員会が、最終出走登録が完了した段階で、最大出走頭数である24頭を越える頭数の登録があったか、なかったかを確認します。そして、24頭を越える登録馬があった場合、これを24頭に絞る権限は主催者の役員会が専有します。以下に記す条項(2)、条項(3)に鑑みて、出走馬の確定を行います。

順位付けで上位の馬が除外された場合、下位の馬たちがその順番に従って1つずつ順番を上げることになり、主催者の役員会は特定の馬の順位を恣意的に上げる権限は持ちません。

下記の競走の1着馬で、当該競走への登録がある馬は、除外の対象となりません。

- ・2019VRCジ・アンドリュウラムステンS
- ・2019VRCザ・パートカミングス
- ・2019VRCレクサスS (ホーザムH)
- ・2019MVRCコックスプレート
- ・2019MRCコーフィールドC

(2) 最終登録が行われた段階で、登録馬の数が24頭を越えている場合、以下の手順で出走馬を24頭に絞込むこととします。

以下に記される競走への出走履歴がない馬は、評価の対象とならず、したがって除外の対象となります。

評価の対象となる競走におけるパフォーマンス

- A) 2018年2月1日以降、国際基準で認められた距離2300m以上の重賞競走において、1着、2着、3着となった馬。もしくは、クイーンズランドダービー、クイーンズランドオークス、プリズベンCで、1着、2着、3着となった馬。
- B) 2018年2月1日以降、国際基準で認められた距離2300m以上の、3歳以上のG1競走において、4着、5着となった馬
- C) 2018年2月1日以降、国際基準で認められた距離2300m以上の準重賞で1着となった馬
- D) 2018年2月1日以降、ヨークのイボアH (英国)、もしくは、チャンピオンズ&チェイターC (香港) で、1着、2着、3着となった馬
- E) 2018年2月1日以降、ノースアンバーランドプレート (英国)、シザーウィッチ (英国)、クイーンマザーメモリアルC (香港) で1着となった馬
- F) 2019年MRCコーフィールドCで、6着、7着、8着となった馬
- G) 2019年MVRCコックスプレートで、2着、3着となった馬
- H) 2019年VRCターンプルSで、1着となった馬
- I) 2017年のメルボルンCで、1着、2着、3着となった馬

J) 2017年のコーフィールドCで、1着となった馬

上記の馬たちを出走への有資格馬と規定し、最終登録を行った馬が24頭を越えた場合、査定された負担重量の低い馬から順番に、除外の対象となります。査定された負担重量が同等の馬が複数いた場合、主催者の役員会による裁定によって順位付けが行われます。

(3) 査定された負担重量が同等の馬が複数いた場合、主催者の役員会が、以下の手順にしたがって順位付けが行われます。

2018年2月1日以降に施行された、査定の対象となる競走における通算獲得賞金の多寡により、順位付けが行われます。

2018年2月1日以降に施行された、査定の対象となる競走における通算獲得賞金が同等の馬が複数いた場合は、主催者の役員会が順位付けの裁定を行います。

負担重量発表後のペナルティー

負担重量発表後、下記の条件に該当する国際基準で認められた平地の重賞競走、および準重賞で、1着となった馬

- ・距離1600m以上のハンディキャップ競走
- ・距離2300m以上のハンディキャップではない競走

については、ハンディキャッパーによる査定が行われ、事前に査定された負担重量が上乘せされる可能性があります。ハンディキャッパーの裁定で査定された新たな負担重量を、主催者の役員会が適性と認めた場合、新たな負担重量が適用されることとなります。

実際のハンディキャップが、当該競走に設定された最低負担重量に満たない馬が上記競走に勝利した場合は、これを鑑みたハンデが設定されます。

ハンディキャップの見直しが行われ、変更がある場合は、当該競走の施行から5日以内(休日は除く)に、ハンディキャッパーからその旨の発表があります。



検疫、輸送、厩舎

海外からの遠征馬にとっての拠点となるウェリビー・インターナショナル・ホースセンターは、近代的設備が整った厩舎と、芝、オールウェザーのトレーニングトラックを保有し、24時間の管理体制が整った施設です。

海外から遠征してくる馬は、本国を出国するあたって、あらかじめ認定された施設において最長で14日間の出国検疫を受ける義務があり、また、オーストラリアに到着後は、レースに出走する前に、ウェリビー・インターナショナル・ホースセンターにおいて、最長で14日間の入国検疫を受ける義務がございます。

2019年のスプリング・レーシング・カーニバルへ向けての輸送日程に関しましては、レーシング・ヴィクトリアまでお尋ねください。

メルボルンに遠征する馬につきましては、馬インフルエンザのワクチン接種など、あらかじめ整えておかなければならない条項がございます。詳細につきましては、インターナショナル・レースホース・トランスポート社 (IRT) まで、お早めにご相談ください。

Racingvictoria.com.au/international にアクセスしていただきますと、輸送や検疫に関する詳しい情報や、調教施設にかんするビデオ映像などもご用意させていただいております。

その他のご案内

レーシング・ヴィクトリアは、皆様の愛馬の遠征と、皆様のメルボルンご滞在に関し、様々なサポートをさせていただきます。
く用意がございます。

下記の項目につきまして、お気軽にご相談ください。

- ・ウェリビー・インターナショナル・ホースセンターにおける検疫と調教にむけてのご準備
- ・馬に帯同して遠征されるスタッフの皆様の宿泊先（特別価格でご滞在いただける施設をご紹介します）
- ・調教師の皆様、ウェリビー・インターナショナル・ホースセンターや競馬場へのご移動は、その手段を原則として主催者をご用意させていただきます。
- ・調教師や厩舎スタッフの皆様、豪州の携帯電話を貸与させていただきます。く用意がございます。
- ・飼い葉、敷料などのご相談
- ・調教師、厩舎スタッフ、騎手の皆様、メルボルンにおけますライセンスや、通行証の発行
- ・オーストラリアにおきましてVISAの発給が求められる国から遠征される馬の関係者には、VISA発給のお手伝いをさせていただきます。

レーシング・ヴィクトリアは、メルボルンにお越しいただく馬主、調教師、騎手の皆様に可能な限りのおもてなしをご用意しております。現地におけるホテル予約、現地におけます移動、各種イベントのチケットや各所におけます通行証など、当方にてアレンジをさせていただきます。

メルボルンにお越しいただく馬主、調教師、騎手の皆様は、メルボルン御滞在中は、当地におけます競馬施行規定の適用対象となります。競馬施行規定の詳細につきましては、レーシング・ヴィクトリアのウェブサイト racingvictoria.com.au をご参照ください。

また、獣医検査に関します注意点、出走馬が装着する馬具に関するご説明など、競馬開催のその他の詳細につきましても、racingvictoria.com.au/internationalにてご確認ください。

お問い合わせ先

Paul Bloodworth (ポール・ブラッドワース)
レーシング・ヴィクトリア
国際担当責任者、兼、競馬施行責任者
電話 61 (0) 403 346 467
p.bloodworth@racingvictoria.net.au

Adrian Beaumont (エイドリアン・ポウモント)
インターナショナル・レーシング・ビューロー (英国)
電話 44 (0) 1638 66 88 81
adrian@irbracing.com

インターナショナル・レースホース・トランスポート社 (IRT・オーストラリア)
電話 61 3 9643 3000
irtaus@irt.com

インターナショナル・レースホース・トランスポート社 (IRT・ヨーロッパ)
電話 44 (0) 1638 668 003
irtuk@irt.com

racingvictoria.com.au/international



2018年レクサス・メルボルンC
クロスカウンター勝利の瞬間